

# 民主党・無所属の会 市議会レポート

【桜区版】11月号

編集・発行：民主党・無所属の会さいたま市議団 桜区事務所

<http://www.minshu-mushozoku.jp>

## 「議会改革」実現に向け活動中！

### 12月定例議会 11月26日開会！

12月定例会が11月26日より開会されます。今議会で私は、当選以来3回目となる「市政に対する一般質問」に臨ませていただきます。

現在、国の進める「道州制」へ向けての本市の考え方、本市の取組む「企業誘致活動」や悪質な事業者などから市民を守る「消費者擁護」の取り組みなどについての質問を行なうべく、その準備を進めています。

追伸 すでに報道等でご存知のこととは思いますが、11日、相川市長が動脈瘤出血で倒れられ、緊急手術を受け入院をされています。市長におかれましてはお体をしっかりと治され、一日も早く公務へ復帰できますことをご祈念いたします。



さいたま市議会議員

**阪本かつみ**

まちづくり常任委員会 副委員長

予算委員会 委員

大都市行財政制度調査特別委員会 委員

### 閉会中は何をしているの？

「議会のない時、議員さんは何をやっているの？」なんて質問をよく受けます。

議会閉会中であっても意見書・請願の審査や各委員会テーマの調査研究、議会基本条例制定や国への予算・施策要望活動など、常任・特別委員会などが開催されています。

また、会派内においても請願や意見書の取り扱いなどの意見集約を図るため、団会議や勉強会、各種プロジェクト会議や打ち合わせなどが頻繁に行なわれています。

私個人としても3回目になる12月議会での一般質問に向け、資料・情報の収集や調査なども行なっています。

更には、地域イベントへの参加や地元活動、公務でのイベント出席など日々忙しく過ごしく活動しております。

市政に対するご意見・ご要望などございましたらお気軽にお寄せください。

民主党・無所属の会さいたま市議団 桜区事務所〔阪本かつみ事務所〕

〒338-0836 さいたま市桜区町谷 3-24-15 TEL 048-710-4022 FAX 048-710-4023

E-mail: [sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp](mailto:sakamoto-k@kfx.biglobe.ne.jp)

「阪本かつみホームページ」 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~sakamoto-k>

## さいたま市民医療センター21年3月に開設

病院たらいまわしによる妊婦死亡事故など痛ましい事件が報道されていますが、さいたま市の周産期医療・小児緊急医療体制は大丈夫か？

さいたま市では、私立病院に加え、新たに今年度中に自治医科大学付属さいたま医療センターに小児病棟及び周産期医療施設が整備されます。

また、平成21年3月開設予定のさいたま市民医療センターに24時間体制の第2次小児医療施設が整備されます。

### さいたま市民医療センターの概要

#### 【場 所】

さいたま市西区大字島根299番地1（大久保浄水場付近）

#### 【構 造】

鉄筋コンクリート造 地下1階 地上6階建て

#### 【主な機能】

かかりつけ医からの紹介患者に対する医療提供  
24時間体制による第二次小児救急医療の実施  
入院及び通院によるリハビリテーションの実施

#### 【診療科目】

内科、外科、小児科、脳神経外科、消化器科、リハビリテーション科、整形外科等

【病床数】 一般病棟340床（内科系94床、外科系94床、小児科50床、リハビリ94床）

## さいたま市コミュニティバス

さいたま市議会 まちづくり委員会では本年度、「さいたま市の公共交通体系について」をテーマとし、特にコミュニティバスについて調査・研究を進めています。

このコミュニティバスは当初、本市が政令指定都市に移行に伴い、各区に区役所を設けることとなり、その区役所への交通手段として交通不便地域に導入されました。

しかしながら、多くの市民は区役所に行きたいのではなく、駅や病院、商店など生活に密着した施設に行きたいことが分かり、何度となく路線の見直しや変更が行なわれてきました。

多くの市民からは、「コミュニティバスの本数をもっと増やしてほしい」、「土日も運行してほしい」、「ワンコインで乗れるようにしてほしい」などの要望も多くよせられていますが、採算性などの課題も多く、今後、委員会で議論されることとなります。

### 平成18年度 コミュニティバス運行補助金（赤字額）

桜区 1,580万円	南区 2,330万円	西区 2,560万円	見沼区 3,680万円
北区 2,650万円	岩槻区 1,130万円	合計 1億3,900万円	

私は、日本以外の国では、100%ないし数十%の公的資金の投入が当然とされていること、今後ますます進展する高齢化社会や深刻化する環境問題を考えれば、採算性よりも市民の公共交通手段の確保が重要だと考えます。

現在私は、来年3月に開設される市民医療センターへの桜区コミュニティバスの乗り入ができるよう、路線の変更・見直し求めています。